

# 横浜 史上最高の酷暑

## 8月平均気温 10年ぶり記録更新

8月の横浜の平均気温が29・1度と10年ぶりに最高記録を更新し、1896（明治29）年の統計開始以降で最も高かったことが、気象庁の分析で分かった。海老名、辻堂、三浦でも8月の平均気温が史上最高を記録。これら4地点を中心に各地とも雨が少なく、日照時間も長かったため、近年でも例のない酷暑となった。

（渡辺 渉）＝関連記事21面に

8月の県内の平均気温



※横浜地方気象台の資料を基に作成。カッコ内は各観測地点の統計開始以降の順位

気象庁によると、横浜に  
おける8月の平均気温の平  
年値は26・7度。今年8月  
はこれを2・4度上回り、  
初めて29度台に達した。そ  
れまでの最高は2010年  
8月の28・6度。18年8月  
（28・1度）、19年8月（28

・4度）と近年は高温が続  
いてきたが、今年は一段と  
厳しい暑となった。  
最低気温が12日を16日に  
下回らなかった。

観測では、今年8月の日照  
時間は全5地点で270、  
320時間余りと平年の  
1・5倍近くに達し、いず  
れも最長を更新した。降水  
量については、観測が行わ  
れている全11地点で平年の  
約4割以下にとどまり、三

浦はわずか0・5、だっ  
た。こうした気象状況は全国  
的な傾向で、東日本と西日  
本の8月の平均気温は戦後  
最も高かったことが分かっ  
ている。気象庁気候情報課

は「8月は偏西風が北側に  
蛇行し、日本の東から太平  
洋高気圧が、西からはチベ  
ット高気圧が張り出し、毛  
布を2枚重ねたような状況  
になった」と酷暑の原因を  
分析している。